

## 持込みごみの手数料の見直しについて

引っ越しや家の片付け、地域の集積所に出せない大型の廃棄物は、田代環境プラザへ直接持ち込むことができます。ただし、持ち込まれる場合は、その重量や種類によって、それぞれ決められた手数料で料金を頂いています。

他市の焼却場においても同様に手数料を徴収していますが、その単価やルールはそれぞれ異なります。(資料1)

田代環境プラザには、毎日様々な理由でごみが持ち込まれますが、手数料の関係や、ルールの中で多くの苦情が寄せられたり、他市からごみを持ち込もうとする人がいたり悪質なケースがあります。そのため、場合によっては受付で身分証の提示を求めるなどの対応をとっていますが、それによって激高する方もいるなど大変苦勞している状況です。

そうしたクレームのいくつかは、手数料の見直しによって改善できますので、来年度、見直しをしていきたいと考えています。

### 【現状の問題点】

- ・島田市はプラごみを分ける必要がなく処理手数料も安価なため、他市から持ち込もうとする業者、市民がいる。  
(⇒島田市内に住む親類の家のごみだ。他市のごみも集め、最後に市内の店舗で収集して田代に持ち込む業者、金属その他燃せないごみと分けることが難しいごみは何とか島田に持ち込もうとするなど。)
- ・事業系と家庭系の料金差が大きいため、事業系を家庭系と偽るケースがある。  
(⇒畑の廃プラを家庭菜園として持ち込む、事業で出たごみを日曜大工で出たごみと偽るなど)
- ・事業系が高額なため、大量のごみであっても個人で持ち込むケースが多くなる。  
(⇒除草はシルバー人材センター、持込は自分、業者が家を修理し、廃材は施主が持ち込む、など)
- ・住居と事業場所が同じ場合、家庭系か事業系かの区別がつかない。  
(⇒事業所であっても、ごみが出ない事業もある。区別するのは困難)
- ・家庭系の 50kg 未満が無料のため、50kg 未満の量にして 1 日に何度も持ち込む。  
(⇒自分で小屋を解体し 50kg 以下にして何度も運び込んだ人も。繁忙期は渋滞の原因にも)
- ・受付では住所、氏名、ごみの種類、事業系か家庭系か、出所をチェックするため、怪しい持込者がいると渋滞してしまう。  
(⇒受付で 10 分、20 分訴える人も。)

### (解決策)

- ・50 kg まで無料は 1 日 1 回限りとする。(志太広域)
- ・家庭系と事業系の単価を統一する。(志太広域、磐田クリーンセンター)
- ・逡増制(排出量が多くなるほど単価が高くなる方法)にする。

## 【現状】

	家庭系と事業系の区分	家庭系の手数料		事業系の手数料
		50kgまで	60kg以上	全ての量に対して
島田市田代環境プラザ	有	無料（1日何度でも）	60円/10kg (360円から)	200円/10kg

## 【改定案】

### 例1 単価を統一する

	家庭系と事業系の区分	家庭系の手数料		事業系の手数料
		50kgまで	60kg以上	全ての量に対して
島田市田代環境プラザ	有	無料（1日1回限り）	200円/10kg	200円/10kg

参考：志太広域事務組合

### 例2 家庭系、事業系の区分をなくす

	家庭系と事業系の区分	家庭系、事業系ともに	
		全ての量に対して	
島田市田代環境プラザ	無	200円/10kg	

参考：磐田クリーンセンター

### 例3 無料をなくす

	家庭系と事業系の区分	家庭系	事業系
		全ての量に対して	全ての量に対して
島田市田代環境プラザ	有	100円/10kg	200円/10kg

参考：吉田牧之原広域施設組合、牧之原市御前崎市広域施設組合、掛川市菊川市衛生施設組合、袋井森町広域行政組合

### 例4 逦増制

	家庭系と事業系の区分	家庭系、事業系ともに		
		50kgまで	60kg～100kg	100kg以上
島田市田代環境プラザ	無	無料（1日1回限り）	100円/10kg	200円/10kg

参考：上下水道料金